

新潟県燕市 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2025

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- **地方創生の実態や取組に興味のある学生におすすめ。** 金属洋食器のシェア日本一の燕市で、「産業観光」について実態的に学ぶことができます。
- 燕市役所や企業などを訪問して、ヒアリングを行い、現場の生の声に触れることができます。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

燕市の産業観光についての現状と提案

産業観光とは、製品やそれを支える人材、施設など、その地域特有の産業にかかわるもの（産業遺構を含む）を観光資源とする旅行のことです。燕市では、江戸時代より、まちをあげて金属に関わる製品をつくり続けて、現在、金属洋食器の国内シェアは90%を超え、ノーベル賞の晩餐会やG7で各国首脳へのお土産として燕市製品が採用されるなど、全国トップレベルの金属加工技術を誇ります。この産業観光にふさわしい燕市で、実態を学び、燕市の産業観光の形を提案していただきます。

燕市の魅力

新潟県の中心に位置する燕市。上越新幹線の「燕三条駅」は上野駅から新幹線で最速93分で到着します。車に乗り換えて30分で海や山、温泉にキャンプまで堪能できる燕市は、おもてなしに満ちた優しい日々を過ごすことができます。

燕市は「おもてなしの心」が根付く地域です。新潟を代表するご当地ラーメンの「燕背脂ラーメン」もその一つで、地域を支える金属加工産業の職人たちがいつでも温かく食べられるようにと開発されたラーメンです。他にも、燕の地を守る大治水工事が行われた「大河津分水」では、感謝を告げる「桜」が立ち並びます。

そして2020年東京オリンピックでは選手のために「おもてなしカトラリー」が制作されました。全てのヒト・モノ・コトに根付くおもてなしの心は燕市最大の魅力となります。



募集概要

実施日程	2025年9月16日（火）から9月19日（金） 3泊4日
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2025年5月1日（木）～5月15日（木）23：59 [厳守]
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること（途中参加・早退不可）。③終了後に期限内にレポート提出すること、以上、3点を確約できる者。
募集人数	8名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 6月と7月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加（最終日の成果報告会でプレゼンテーション） ③ 終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2025 夏編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2025 夏編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請
選考方法	書類選考：結果通知は 2025年6月2日（月）までにWasedaメール にて通知します。 ※当選者には、メールにて参加の意思確認をするので、日常的にメールを確認するようにしてください
注意事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ② 2025年9月16日から19日の現地実習は、 現地集合・現地解散で、往復交通費は自己負担 です。 ＜交通費目安＞東京駅～燕三条駅 片道 9,440円（新幹線／指定席） ③ 参加者が現地で負担する費用は、宿泊3泊で計4,000円のほか、毎回の食費実費です。 ＜宿泊場所＞つばめ産学協創スクエア 住所：新潟県燕市宮町5番8号 ④ 現地での移動は、公益社団法人「つばめいと」様からご支援をいただきます。 ⑤ プログラムを終えて「1単位相当」に認定された人は、新潟県の補助金（最大1万円程度）の対象になります（自分で手続きが必要）。詳しくは現地で説明します。 ⑥ 現地では、本学教員とつばめいと職員が引率します。 ⑦ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑧ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑨ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑩ 【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、5月末～6月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑪ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑫ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバル・エデュケーション・センター 准教授 加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

9月16日	火	12:19	燕三条駅 集合
		12:30	オリエンテーション・燕三条地場産業センター見学
		14:00	燕市産業史料館 → 体験工房
		15:00	燕市観光協会訪問
		17:00	協創スクエアにチェックイン・ふりかえり・夕食
9月17日	水	9:00	燕市役所にて聞き取り
		11:00	藤次郎ナイフギャラリー見学
		12:15	杭州飯店→燕背脂ラーメン体験
		14:00	玉川堂(株式会社つくる)訪問
		15:30	ミノル製作所株式会社訪問
		17:00	ふりかえり・夕食
9月18日	木	9:00	一菱金属株式会社訪問
		10:30	有限会社フカウミ訪問
		午後・夜	プレゼンテーション作成
9月19日	金	10:00	成果報告・意見交換会 (プレゼンテーションと講評・協創スクエア)
		終了後	清掃→チェックアウト
			協創スクエアにて現地解散(燕駅まで徒歩7分) ※参考 燕三条駅12時39分発

※天候や訪問先のご都合等によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。